

経営学教育における情報教育のガイドライン

【到達目標 1】

ICTを活用して、経営に関わる情報を適切に収集・整理・加工・処理・発信できる。

【到達度】

情報検索やソフトウェアの活用など基本的な情報処理ができる。

組織における情報システムの役割を理解している。

経営情報の社会的影響力を理解し、情報を適正・適切に取り扱うことができる。

【教育内容・教育方法】

は、Web検索や資料検索等によって得たデータをもとに、ワープロ、表計算、プレゼンテーションなど基本的なソフトウェアを用いてレポートやプレゼンテーションをさせる。

は、講義と事例研究によって、組織における情報の流れと役割を理解させる。

は、講義と事例研究によって、情報セキュリティ、情報倫理、情報関連法規などについて理解させる。

【到達度確認の測定手段】

は、プレゼンテーション、レポートなどにより確認する。

と は、小テスト、レポートなどにより確認する。

【到達目標 2】

企業をはじめとする組織の行動を整理・分析し、意思決定を行うためにICTを活用できる。

【到達度】

ソフトウェアを用いたデータの整理・分析や意思決定への活用ができる。

経営情報システムによる複数の成功、失敗事例を利用できる。

【教育内容・教育方法】

は、講義、演習、ビジネスゲームなどにより、データ分析の理論及び手法を教え、意思決定の手法を理解させる。

は、ケーススタディ方式で事例を紹介し、因果関係を討議させる。

【到達度確認の測定手段】

は、小テスト、プレゼンテーションなどにより確認する。

は、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより確認する。